



## Polycom® SoundStation® IP 6000

### クイックユーザガイド

基本的な電話機能  
電話機能のカスタマイズ

SIP 3.0.2 以降が動作する電話に対応


詳細については、『*User Guide for the SoundStation IP 6000 Phone*』を参照してください。(ドキュメントは以下のアドレスで入手可能)

<http://support.polycom.com/voice>

© 2013, Polycom, Inc. All rights reserved. POLYCOM®, Polycom のロゴデザイン、Polycom の製品に関連する名称およびマークは、Polycom, Inc. の商標またはサービスマークであり、米国やその他の国々において登録されているか、または慣習法上のマークです。その他すべての商標は、それぞれの会社が所有しています。Polycom の書面による許可がある場合を除いて、このドキュメントのいかなる部分も個人的使用以外の目的で複製または送信することはその形式および方法を問わず禁止されています。

## 基本的な機能

### 通話の発信

 を押して電話番号を入力し、次に **[呼出]** ソフトキーを押します。


### 通話の応答

**[応答]** ソフトキーを押します。



着信を無視するには、**[拒否]** ソフトキーを押します。

着信音を鳴らさないようにするには、**[応答拒否]** を設定にします。「**応答拒否の使用**」を参照してください。


### 通話の終了

通話中に  または **[終了]** ソフトキーを押します。

### マイクのミュート

通話中に  を押します。外付けマイクを使用している場合は、そのマイクの  を押すこともできます。コンソールの LED が赤く点灯します。

ミュートがオンになっている間でも、他のすべての参加者の通話を聞くことができます。他の参加者には、あなたの声は聞こえません。

ミュートをオフにするには、 をもう一度押します。


### 通話の保留と再開

通話中に **[保留]** ソフトキーを押します。コンソールの LED が赤く点滅します。

通話を再開するには、**[再開]** ソフトキーを押します。

### リダイヤル

最後にダイヤルした番号にかけるには、

 を押します。

## 通話の転送

通話の転送を行うには、次の操作を行います：

1. 通話中に **[転送]** ソフトキーを押します。現在の通話は保留状態になります。
2. 転送先の参加者の番号を入力して、次に **[呼出]** ソフトキーを押します。通話の転送をキャンセルするには、**[取消]** ソフトキーを押します。保留中の通話が再開されます。
3. 呼出音が鳴っているとき、または転送先の参加者と会話した後に、**[転送]** ソフトキーを押します。

転送先の参加者と会話しないで、通話を自動的に転送することもできます。手順 1 の後に、**[ブラインド]** ソフトキーを押します。次に手順 2 を実行します。

## 通話の着信転送

通話の着信転送をオンにするには：

1. 待機画面で、**[転送]** ソフトキーを押します。
2. 転送のタイプを次から選択します。
  - **常時** - すべての着信を転送する
  - **無応答** - すべての不応答の着信を転送する
  - **取り込み中** - 通話中の場合に着信を転送する
3. 転送先の番号を入力します。**[無応答]** を選択した場合は、転送する前の呼出音の回数を入力します。
4. **[有効]** ソフトキーを押します。

通話の着信転送をオフにするには：

1. 待機画面で、**[転送]** ソフトキーを押します。
2. 無効にする転送のタイプを選択します。
3. **[無効]** ソフトキーを押します。

## 会議のホスティング

最大 2 人の参加者に対して会議を開催できます。

会議をホストするには、次の操作を行います：


1. 最初の参加者に通話を発信します。
2. 最初の参加者が応答した後に、**[会議]** ソフトキーを押します。現在の通話は保留状態になります。
3. 2 番目の参加者の番号を入力し、次に **[呼出]** ソフトキーを押します。
4. 2 番目の参加者が応答したら、**[会議]** ソフトキーを押します。これで、すべての参加者が会議に参加します。次のいずれかの操作が可能です。

- 会議を保留にするには、**[保留]** ソフトキーを押します。会議を再開するには、**[再開]** ソフトキーを押します。
- 会議を終了するには、**[終了]** ソフトキーを押します (別の参加者の接続は維持されます)。
- 保留中に会議を 2 つの通話に分割するには、**[回線の切り離し]** ソフトキーを押します。

回線の一方が通話中で一方が保留中の場合、**[会議に参加]** ソフトキーを押せば 3 者間で会議を開催できます。


## 短縮ダイヤル


短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルするには：

1.  を押します。
2. 連絡先の短縮ダイヤルのインデックス番号を入力します。また、インデックス番号が不明の場合は、連絡先まで移動して **[呼出]** ソフトキーを押します。

短縮ダイヤルのインデックス番号を変更するには、「**連絡先リストの更新**」を参照してください。


## 応答拒否の使用

通話の応答を拒否するには、 を押し、次に [機能] > [応答拒否] を順に選択します。

[応答拒否] のオンとオフを切り替えるには、 を押します。

## 通話履歴の使用


不在着信、受信、発信の履歴を使用するには、次の操作を行います：

-  を押し、[機能] > [通話履歴] の順に選択して、[不在着信]、[受信履歴]、[発信履歴] のいずれかを選択します。>
- 履歴から通話を選択します。次のいずれかの操作が可能です。
  - その番号に発信するには、[呼出] ソフトキーを押します。
  - ダイヤルする前に番号を変更するには、[編集] ソフトキーを押します。
  - リストから通話履歴を削除するには、[消去] ソフトキーを押します。
  - 連絡先を連絡先リストに保存するには、[保存] ソフトキーを押します。
  - 通話の情報を表示するには、[情報] ソフトキーを押す。

## ボイスメール\* へのアクセス

ボイスメールメッセージがある場合は、電話機の LED インジケータが赤で素早い点滅をし、通常のダイヤルトーンではなく連続したダイヤルトーンが聞こえます。

ボイスメールメッセージを聞くには：


-  を押し、[機能] > [メッセージ] > [メッセージセンター] を順に選択します。
- [接続] ソフトキーを押して、次に音声または画面上のプロンプトに従います。

\*ボイスメールはユーザのシステム管理者が設定するオプション機能です。オプションは異なる場合があります。

## 電話機能のカスタマイズ

### 連絡先リストの更新

連絡先を追加するには、次の操作を行います：

-  を押し、次に [機能] > [連絡先リスト] を順に選択します。
- [追加] ソフトキーを押します。
- 連絡先の情報を入力します ([次へ] および [前へ] の各ソフトキーを使用してフィールド間を移動します)。
  - (オプション) 連絡先の氏名を入力します。
  - (必須) 連絡先の電話番号を入力します。
  - (オプション) 短縮ダイヤルインデックス番号を変更します。連絡先が次の番号に自動的に割り当てられます。
  - (オプション) 呼出音のタイプを設定します (**「呼出音のタイプの更新」** を参照)。
  - (オプション) 転送先の番号を入力します。これは、この連絡先からの通話を転送する相手先です。
  - (オプション) スクロールキーを使用して、[応答拒否] フィールドおよび [自動転送] フィールドをオンまたはオフにします。


[応答拒否] フィールドをオンにすると、連絡先から通話があるたびに、通話がボイスメールシステムに転送されます (ボイスメールをお持ちでない場合には、この設定をオンにしても、呼出音が鳴ります)。

[自動転送] フィールドをオンにすると、連絡先から通話があるたびに、通話が [転送先] フィールドで指定した相手先に転送されます。


- [保存] ソフトキーを押します。

通話リストから連絡先リストに連絡先を追加できます。**「通話履歴の使用」** を参照してください。

連絡先を編集するには：

-  を押し、次に [機能] > [連絡先リスト] を順に選択します。
- 編集したい連絡先までスクロールして、[編集] ソフトキーを押します。
- 連絡先の情報を更新します。更新できるフィールドの情報については、前の項の手順 3 を参照してください。
- [保存] ソフトキーを押します。



連絡先を検索するには：

-  を押し、次に [機能] > [連絡先リスト] を順に選択します。
- [検索] ソフトキーを押します。連絡先の名前の先頭の文字を入力し、[検索] ソフトキーをもう一度押します。


### 呼出音のタイプの更新


着信を知らせる呼出音を変更できます。また、連絡先リストにあるさまざまな連絡先毎に呼出音を設定することもできます。

着信を知らせる呼出音を変更するには、次の操作を行います：

-  を押し、[設定] > [基本設定] > [呼出音のタイプ] を順に選択します。
- 使用する呼出音のタイプまでスクロールします。選択する前に呼出音を聞くには、[再生] ソフトキーを押します。呼出音を選択するには、 を押します。

連絡先別に呼出音を設定するには、次の操作を行います：†



-  を押し、次に [機能] > [連絡先リスト] を順に選択します。
- 連絡先に移動します。
- [編集] ソフトキーを押し、[次へ] ソフトキーを使用して [呼出音のタイプ] までスクロールします。
- 使用する呼出音に対応する番号を入力します。

(画面を終了して呼出音に対応する番号を見つけるには、 を 2 回押し、次に [設定] > [基本設定] > [呼出音のタイプ] を順に選択します)。



- [保存] ソフトキーを押します。

### スピーカと着信音の調整

スピーカの音量を調整するには、次の操作を行います：

- 通話中に  または  を押します。

着信音の音量を調整するには、次の操作を行います：

- 電話機を使用していないときに、 または  を押します。

また、電話の呼出音を停止できます (**「応答拒否の使用」** を参照)。また、サイレントマナーを選択できます (**「呼出音のタイプの更新」** を参照)。

†社内の設定がこの機能に優先する場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。